

1. メインセンター定期保守点検に対するご理解とご協力をお願い
2. 学外からのメールの延滞

1. メインセンター定期保守点検に対するご理解とご協力をお願い

メインセンターでは、保守点検を毎週水曜日に行っています。

保守点検では、メールサーバ、教育研究用サーバなどの安定運用のために再起動及びセキュリティアップデートなどの保守作業を定期的に行っています。また、基幹情報システム（教育研究システム、統合認証システム、事務情報システム、学生情報システム）などの保守も必要に応じて行っています。

定期保守点検日時：毎週水曜日 13:00～16:00

定期保守点検では、メールシステム、基幹情報システムなどを断続的に止めての作業になりますので、メールや各種サーバが利用できない時間が発生します。

なお、保守点検の通常作業による利用停止などの告知は行いませんが、保守点検時間を越える保守作業が必要な場合は、事前にセンターニュース及びホームページ等でお知らせします。

皆様方には、メールの利用などご迷惑をお掛けしますが、定期保守点検の趣旨をご理解して頂き、ご協力をよろしくお願い致します。

2. 学外からのメールの延滞

学外から本学に送信されるメールは月に100万通以上あり、その大半がウィルス付メールとspam（迷惑）メールです。この状況は、本学に限ったことではなく、学外機関及びプロバイダなどでも同じ状況です。

本学を含めた各機関及びプロバイダなどのメールシステムは、大量のウィルス付メールやspamメールの処理に追われており、メールの延滞が発生する場合があります。

メールの延滞の要因

- (1) 大量のウィルス付メールとspamメール受信によるメールサーバの過負荷
- (2) 予期せぬメールシステムの障害

本学では、ウィルス付メール対策とspamメール対策の両方を行っているため、学外機関及びプロバイダなどのメールの送信（配送）方法によっては、学外からのメールが長時間（数時間から十数時間）の延滞または届かないメールが出ることがあります。

学外からのメールで長時間の延滞や届かないメールがありましたらお手数ですが、メインセンターにご相談ください。

情報基盤センターでは、できるだけメールの延滞が起きないように随時メールシステムの見直しを行っていますが、学外機関などとの緊急を要する連絡については、メールだけではなくできるだけ電話やFAXも併用する連絡方法を取って頂くようお願い致します。